

# 「九重山・山の安全を祈る日」の集い

## 経緯

今を去ること86年前、昭和5年(1930年)8月11日、この日はちょうど九州本土を台風が襲っていました。折り悪しく久住山へ登山中、道に迷った福岡県の若者が二人、雨風にうたれ、御池の付近をさまよい歩くうちに力尽き倒れてしまいました。今で言う低体温症でしょう。これが記録に残る九重山での初めての遭難死亡事故となっています。その跡には遺族が慰霊碑を建てて、その碑が今も残っています。しかしこの碑が、長い年月の間にその根本の部分が崩壊し、何時の頃からか石碑は倒れたままになっていました。

平成22年(2010年)は遭難事故からちょうど80年目。この石碑を立て直そうと、日本山岳会会員やその山仲間たちが機材や材料を担ぎ上げて修復し、8月8日(日)に石碑修復と遭難者の慰霊の式典を行ったのが始まりです。(この日は雨天のため、慰霊碑前での行事を変更し、御池避難小屋で実施しました。)

それ以来、「九重山・山の安全を祈る日の集い」として、毎年8月第1日曜日に、この碑の前で慰霊祭を行うようになって今年で7年目となります。この行事は公益社団法人日本山岳会東九州支部と・法華院温泉山荘が共催で実施しておりまして、山荘の社長であるとともに、法華院白水寺弘蔵岳久第28代院主の読経のもとで行われます。夏の九重山の山歩きを楽しみながら、この集いに立ち寄ってみませんか。

日時 8月7日(日) 午前11時から

場所 久住山御池南の遭難慰霊碑前

(雨天の場合は御池避難小屋にて)

参加対象 山登りが好きで、山の安全登山を考える人はどなたでも参加できます

参加方法 午前11時までに現地集合といたしますが、希望者には牧ノ戸峠からご案内いたします。

問い合わせ等 東九州支部 支部長 加藤英彦(097-543-0333・090-3607-7903)または  
事務局長 飯田勝之(0977-21-3437・090-2503-8409)まで



昨年(平成27年)の安全祈願祭のようす

地図↓



